

「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」の算出方法について

「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みの算出についても、「教育・保育」の量の見込みと同様に、国からアンケート調査の結果を使った標準的な算出方法が示されている。また、当該算出方法によらずに、地方版子ども・子育て会議等の議論等を踏まえた、より効果的、効率的な方法による算出を妨げるものではないものともされている。なお、「利用者支援事業」「乳児家庭全戸訪問事業」「養育支援訪問事業」「妊婦健診事業」は、アンケート調査によらずに推計するとされ、現在及び過去の利用状況等ををもとに算出することとなる。

(1) 区域A～Cの3区域ごとに量の見込みを算出するもの

①時間外保育事業（延長保育事業）

【対象となる潜在的な家庭類型】A、B、C、E ※0～5歳児

【利用意向率】上記の対象のうち、「認定こども園」「保育所」「その他の保育」の利用を希望し、かつ利用希望時間に18時以降が含まれる回答をした割合

【算出方法】 $\text{「対象の家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」}$

(2) 小学校28校区を各区域として量の見込みを算出するもの

①放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

【対象となる潜在的な家庭類型】A、B、C、E ※5歳児

【利用意向率】上記の対象のうち、「放課後の時間を過ごさせたい場所」で「放課後児童クラブ」を選択した割合（低学年、高学年ともに同じ方法にて利用意向率を算出）

【算出方法】 $\text{「対象の家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」}$

※国の手引きでは、より実態に応じた就学児対象の調査結果を利用することも可能とされており、本市においても、市内全小学校の3～5年生を対象とした意向調査を実施していることから、当該調査結果を活用することを検討している。

(3) 市内全域を1区域として量の見込みを算出するもの

①子育て短期支援事業（ショートステイ）

【対象となる潜在的な家庭類型】全ての家庭類型 ※0～5歳児

【利用意向】上記の対象のうち、1年間で「ショートステイを利用した」経験のある回答をした割合と、その平均利用日数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「全ての家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人/年）」}$

②地域子育て支援拠点事業（子育てプラザ）

【対象となる潜在的な家庭類型】全ての家庭類型 ※0～2歳児

【利用意向】上記の対象のうち、「子育てプラザを利用している」「利用していないが今後利用したい」と回答した人数の割合と、その月あたりの平均利用回数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「対象の家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人/月）」}$

(3) 市内全域を1区域として量の見込みを算出するもの

③一時預かり事業

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり＞

ア) 1号認定による不定期の一時預かり

【対象となる潜在的な家庭類型】C'、D、E'、F ※3～5歳児

【利用意向】上記の対象のうち、「幼稚園」「認定こども園」の「利用を希望」または「利用」し、不定期事業を「利用したい」または「利用している」と回答した割合と、不定期事業を「利用したい」と回答した人の年あたりの平均利用意向日数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「対象の家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人/年）」}$

イ) 2号認定による定期的な一時預かりの利用

【対象となる潜在的な家庭類型】A、B、C、E ※3～5歳児

【利用意向】利用意向率（1.0で固定）と、2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される家庭の年あたりの就労日数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される家庭数」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人/年）」}$

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外＞

【対象となる潜在的な家庭類型】全ての家庭類型 ※0～5歳児

【利用意向】上記の対象のうち、不定期事業を「利用したい」と回答した割合と、その年あたりの平均利用日数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「全ての家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} - \text{「上記アの平均利用意向日数」} - \text{「ベビーシッター及びその他の事業の利用日数」} = \text{「量の見込み（人/年）」}$

④病児・病後児保育事業

【対象となる潜在的な家庭類型】A、B、C、E ※0～5歳児

【利用意向】上記の対象のうち、①子どもの病気やけがで「父親または母親が休んだ」経験があり、かつ「病児・病後児保育事業を利用したい」と回答した人と②「病児・病後児保育またはファミリー・サポートを利用」した経験のある人の合計の割合と、その月あたりの平均利用回数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「対象の家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人/年）」}$

⑤子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

【対象となる潜在的な家庭類型】全ての家庭類型 ※5歳児

【利用意向】上記の対象のうち、「放課後の時間を過ごさせたい場所」で「ファミリー・サポート」を選択した割合（低学年、高学年ともに同じ方法にて利用意向率を算出）と、その週あたりの平均利用日数を乗じたもの

【算出方法】 $\text{「対象の家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人/週）」}$